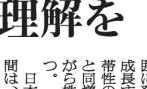
有名な り。野 なじみ深い 前期には成立していたと 取りつつ、 分類される植物)の種類 と考えることができる。 する説がある。 につかひけり」 竹(イネ科タケ亜科に この物語は平安時代一説だ。詳細は不明だ と活に密着 日本 日本を含む東ア 日本を含む東アジア 野山にまじりて竹を いたことがうかが といふものありけ 「竹取物語」冒頭 よろづのこと 植物であった へにとって大変 200 看して使わ 当時から これは

につい



て解説してもらう。 この有効活用事例と

> 類、アジア・アフト・公分布する温帯性タケ 性タケ類からなる。 がら株立ちする特性を持 と同様に稈を密集させな 帯性の竹は、 成長するのに対して、 囲に発生させながら拡大 性の竹は、 中南米に分布する汎(は して稈(かん) 熱帯性タケ類と草本 主に地下茎を 稲やススキ を広範 温带 媣

する。 淡竹 間は、 さは10~20 がに達し、 らは直径が3~20だ、 されているが コの発生により栄養繁殖 下茎を伸長させ、 「竹林」と呼ばれているされているが、いわゆる は、130種類余りと日本に生育する竹の仲 (ハチク) 孟宗竹 真竹 (マダケ)、(モウソウ これ 地

見分けられる。 だら模様があったりする マダケのように独特なま のように無数の毛に覆わ る竹の皮にも特徴があ 発生するタケノコの稈鮹 るとモウソウチクは環が は環が二つある。 れらの竹を見分けるに (かんしょう) く 写真を見てほしい。 て黒々としていたり、 まず稈の節を観察す 例えばモウソウチク この時期は容易に マダケとハチクに 春先に

度とされる。 年程度、 が、竹の する必要がある。 の地下茎が最もタケノコ ような特性を十分に理解 むね隔年に現れる。 を過ぎると生産力が落ち の生産力が高く、 木のような肥大成長はで 竹には形成層がなく樹 (次回は8月2日付) 竹の寿命は最長で30 豊作と凶作がおお 0 地下茎は10年程 また諸説ある ર્ 5年目 4年目



(広島県内で筆者撮影)ン、マダケ、ハチク

んじろう

月より県立広島大学生物資源科学部学部長 学博士(東京農工大学)、農水省森林経資源利用に関する教育研究に従事する。 富山県立大学工学部を経て、 奈良先端科学技術大学院大学で博士研究 968年神奈日 農水省森林総合研究 川県生まれ。 (現職) 20 植物の 97年農